

平成27年9月29日

関係各位

武蔵野市教育委員会
教育長 宮崎 活志

セカンドスクールの「2015年度グッドデザイン賞」受賞のお知らせ



日頃より、武蔵野市の教育諸事業の推進に、ご理解・ご尽力を賜り誠にありがとうございます。
今年度、20年目を迎えた本市の主要教育施策である長期宿泊体験学習「セカンドスクール」が、この度、「2015年度グッドデザイン賞(主催：公益財団法人日本デザイン振興会)」を受賞いたしました。

「セカンドスクール」は、市立小中学校に在籍する児童・生徒を対象に、自然に恵まれた農山漁村に長期間滞在し、普段の学校生活(ファーストスクール)では体験し難い、総合的な体験学習を通して、児童・生徒の「課題解決への意欲や態度」「豊かな人間関係」「自主性・協調性」「進んで他者と関わる力」等を培うことをねらいに平成7年に小学校で、平成8年には中学校でもスタートし、これまでの20年間で、のべ約3万人が「セカンドスクール」を体験しています。

20年目を迎えるに当たり、「セカンドスクール」に対する再評価を行うとともに、ねらいに基づいた体験活動の一層の充実を図るため、私たちの生活をより豊かにする「終わりのない継続的な創造的思考活動」を表彰する「グッドデザイン賞」に応募いたしました。

今回の審査では、「市の教育委員会として20年もの間、このような取り組みを続けていることは素晴らしい。その内容もこれまでの経験が集約されていて、子どもたちにとっては貴重な体験になっていると想像しています。」という高い評価を審査委員の方よりいただきました。これまで「セカンドスクール」に携わっていただいた各校の校長先生をはじめとする教職員の皆様や実施地の方々など、関係者の皆様のご尽力に改めて御礼申し上げます。また、ご支援をいただいているすべての方々にも御礼申し上げます。

武蔵野市教育委員会では、今回の受賞を契機に「セカンドスクール」のさらなる改善・充実を図り、これからの社会を支える児童・生徒の育成に向けた支援を行ってまいりますので、よろしくお願いいたします。

「グッドデザイン賞」とは

グッドデザイン賞は、1957年に経済産業省が創設したグッドデザイン商品選定制度を発端とする、日本唯一の総合的なデザイン評価・推奨の運動で、現在は公益財団法人日本デザイン振興会が主催しています。これまで59年にわたり、デザインを通じて日本の産業や生活文化を向上させる運動として展開され、のべ受賞件数は40,000件以上にのぼります。ここでのデザインとは、私たちの生活をより豊かにするための「終わりのない継続的な創造的思考活動」と定義し、有形無形を問わず、人によって生み出されるあらゆるものや活動を対象としています。

現在では国内外の多くの企業や団体などが参加する世界的なデザイン賞となり、グッドデザイン賞受賞のシンボルである「Gマーク」はすぐれたデザインを示すシンボルとして広く親しまれています。

<http://www.g-mark.org/>



GOOD
DESIGN

この件に関する問い合わせは、市教育委員会教育部指導課 0422-60-1897まで